

千代田区の文化的多様性・国際性に関する観光資源の調査

－専修大学－

目的

本研究は、ふたつの目的をもっています。ひとつは、千代田区で学ぶ学生の視点から、区内の人やモノの魅力を探り発信することです。もうひとつは、教育・研究機関としての大学の役割を検証することです。大学は閉ざされた勉学・研究の場ではなく、多様な文化と地域住民を結びつける開かれた起点となることを目指しています。本研究を進めるうえで共有されるのは、「千代田区に住み集う多様な人々が誇りを持てるまちに」という『千代田区観光ビジョン』の基本理念と、「多様性を認めあい、包摂する社会」を目指すという『千代田区ジェンダー平等推進行動計画』の基本理念です。

多様な人々や文化が交流し共生しながら磨き上げ、千代田区が形づくられてきたという視点をもちつつ、本研究の目的を達成するため、本学生による「掘り起こし隊」を結成しました。「掘り起こし隊」とは、千代田区が備える魅惑的な力を発見する、あるいは「再」発見することを目的とした学生のグループです。神田キャンパスの三学部（法学部、商学部、国際コミュニケーション学部）の学生有志で構成され、散策や取材など五感を用いながら千代田区の魅力を掘り起こし、伝えます。

研究内容・結果

本研究では、以下の取り組みを同時に進めました。

- ①「掘り起こし隊」による神保町と九段下エリアの散策・取材活動
- ②千代田区における多文化共生の現状と課題に関する官学民の連携を探る座談会
- ③神保町古書店街における近年の変化とコミュニティへの影響に関するインタビュー調査
- ④神保町における中国人コミュニティに関するドキュメンタリー作品の制作
- ⑤神保町エリアにおけるアジア系食堂の紹介



研究の内容や結果について、成果報告書「千代田区の文化的多様性を探る」冊子にまとめました。「掘り起こし隊」の散策や取材の様子、座談会やインタビューについてできるだけ分かりやすく記載しています。右記のQRコードより読み取り、閲覧していただくことができます。



考察・まとめ

千代田区の文化的多様性とは、区内に居住する人はもちろん、千代田区に通う人びとによって構成されています。また、寺社仏閣など歴史ある建造物や古き街並みの景観を保つ路地と同時に、ポピュラーカルチャーの発信地を抱えており、千代田区は伝統とモダニティの交錯という意味でも多様性にあふれています。本研究の取り組みでは、学生は、通学時の「単なる」景色として見過ごしていたもののなかに、歴史を見いだし、意味を探りました。地域の方々とのコミュニケーションを通じて、千代田区に生きるひとりとしての意識が高まりました。他方、千代田区の多文化共生の現状をみると、より住みやすい千代田区を実現するために、官学民の連携をさらに深める必要があることに気が付きました。本研究をきっかけとして、大学と地域社会とのあいだに、より密接で継続的な関係を築いていくようにしたいと思います。